

## 第2章 上板町の子どもと家庭の現状

### 1 人口等の状況

#### (1)人口

国勢調査でみる上板町の総人口は、平成 17 年で 13,046 人と増加を続けています。生産年齢人口及び老年人口は増加し続けているのに対して、年少人口は平成 17 年で 1,688 人と昭和 60 年と比較して、約 1,000 人減少しています。

県の人口構成比と比較すると、生産年齢人口の比率は県平均より本町のほうがやや高く、年少人口、老年人口の比率では県平均を下回っています。

【上板町の人口の推移】（各年 10 月 1 日現在）

| 区 分                 | 昭和 60 年           | 平成 2 年            | 平成 7 年            | 平成 12 年           | 平成 17 年           | 徳島県<br>(平成 17 年)   |
|---------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 総人口（人）              | 12,523<br>(100.0) | 12,546<br>(100.0) | 12,721<br>(100.0) | 12,952<br>(100.0) | 13,046<br>(100.0) | 805,563<br>(100.0) |
| 年少人口<br>(14 歳以下)    | 2,663<br>(21.3)   | 2,413<br>(19.2)   | 2,064<br>(16.2)   | 1,835<br>(14.2)   | 1,688<br>(12.9)   | 105,648<br>(13.1)  |
| 0～4 歳               | 775<br>(6.2)      | 686<br>(5.5)      | 488<br>(3.8)      | 502<br>(3.9)      | 558<br>(4.3)      | 32,239<br>(4.0)    |
| 5～9 歳               | 945<br>(7.5)      | 783<br>(6.2)      | 755<br>(5.9)      | 551<br>(4.3)      | 556<br>(4.3)      | 35,703<br>(4.4)    |
| 10～14 歳             | 943<br>(7.5)      | 944<br>(7.5)      | 821<br>(6.5)      | 782<br>(6.0)      | 574<br>(4.4)      | 37,706<br>(4.7)    |
| 生産年齢人口<br>(15～64 歳) | 8,229<br>(65.7)   | 8,262<br>(65.9)   | 8,285<br>(65.1)   | 8,315<br>(64.2)   | 8,340<br>(63.9)   | 502,657<br>(62.4)  |
| 老年人口<br>(65 歳以上)    | 1,631<br>(13.0)   | 1,871<br>(14.9)   | 2,372<br>(18.6)   | 2,802<br>(21.6)   | 3,018<br>(23.1)   | 197,258<br>(24.5)  |

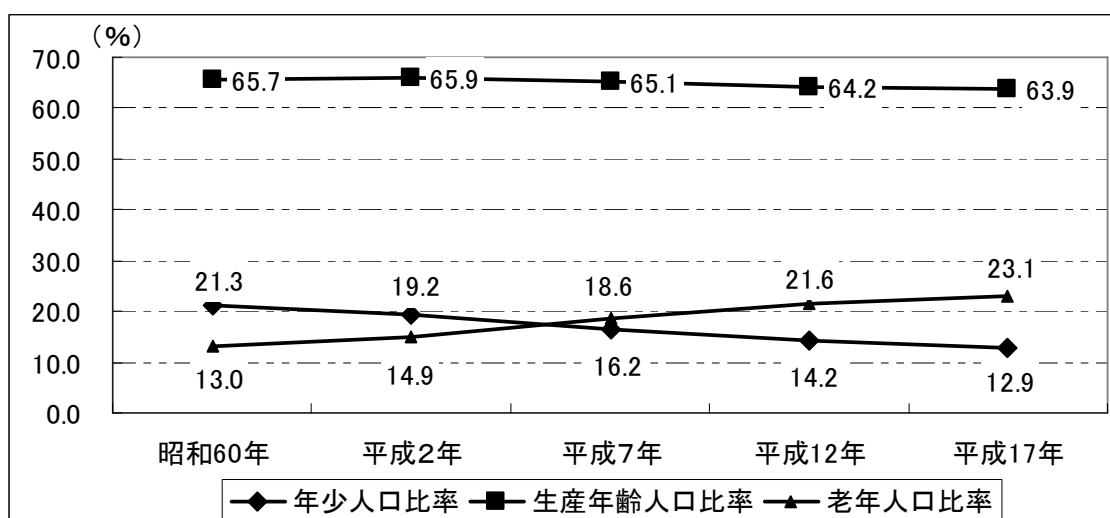
※ 上段：人数 下段：構成比（％）、資料：国勢調査

## (2)年少人口及び老年人口の推移

年齢3階級別の人口構成比は、0～14歳の年少人口の割合が平成17年には12.9%と、昭和60年の21.3%から8.4ポイント減少しています。

一方、65歳以上の老年人口割合は平成17年に63.9%となっており、少子・高齢化の進行がみてとれます。

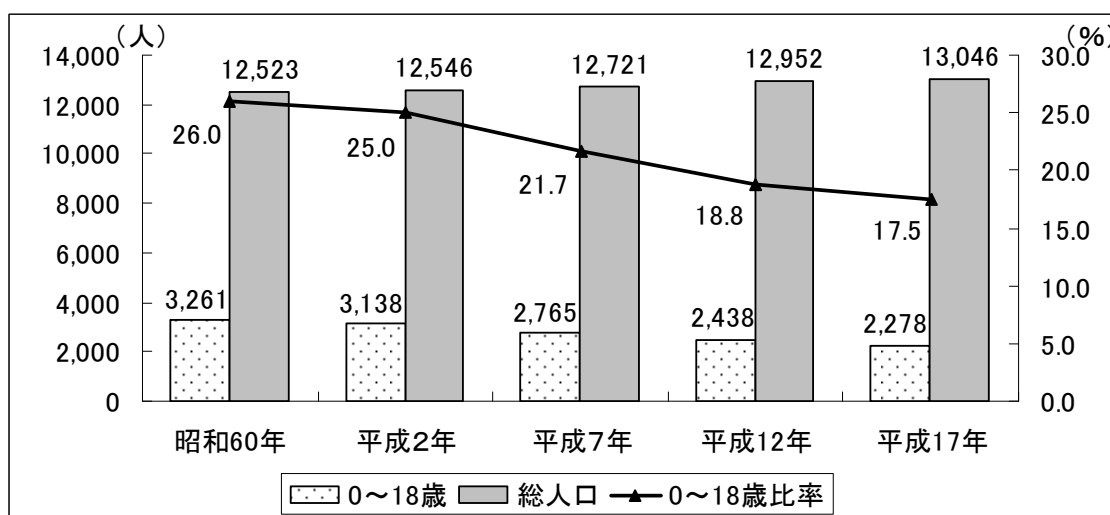
【人口構成比の推移】



## (3)18歳以下人口の推移

18歳以下人口の推移をみると、昭和60年の3,261人から平成17年には2,278へと減少し、総人口に占める比率も26.0%から17.5%に低下しています。

【18歳以下人口の推移】



#### (4)未婚率の推移

20～39 歳男女の未婚率の推移を昭和 60 年から平成 17 年にかけてみると、ほぼ全ての年齢階級について上昇しています。

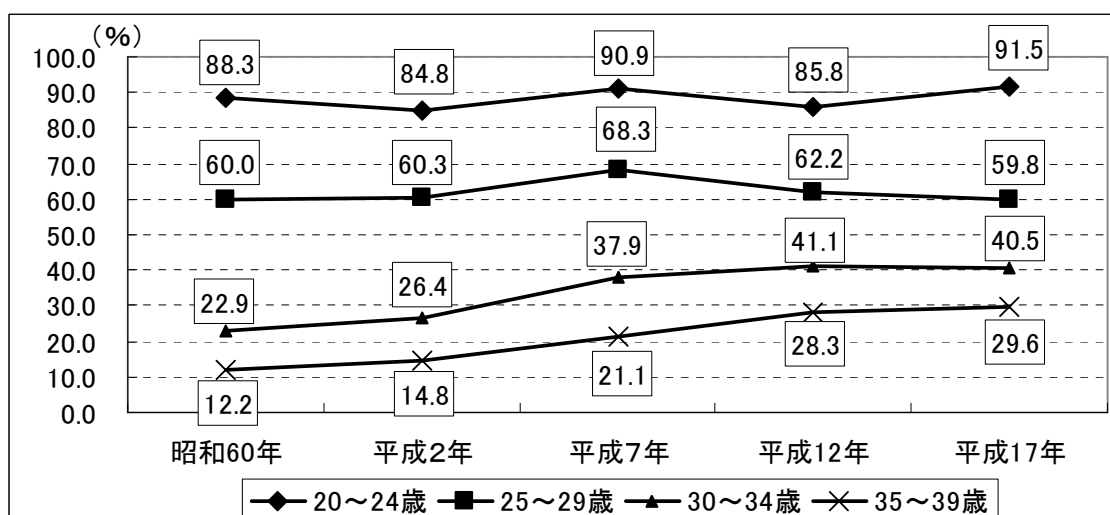
男性では「30～34 歳」で昭和 60 年の 22.9%が平成 17 年には 40.5%へと上昇し、「35～39 歳」で 12.2%から 29.6%へと上昇しています。

また女性の「25～29 歳」で昭和 60 年の 23.8%が平成 17 年には 53.5%へと上昇し、「30～34 歳」で 6.2%から 32.4%へと上昇しています。

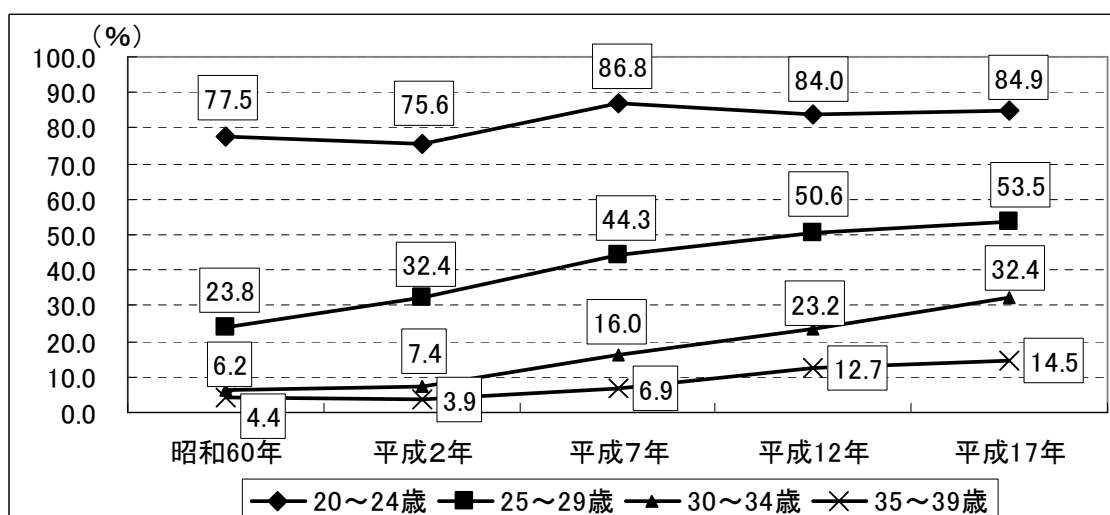
全国の傾向とほぼ同じであり、男女とも、未婚化・晩婚化の進行が続いています。

【未婚率の推移（20～39 歳）】（各年 10 月 1 日現在）

（男性）



（女性）

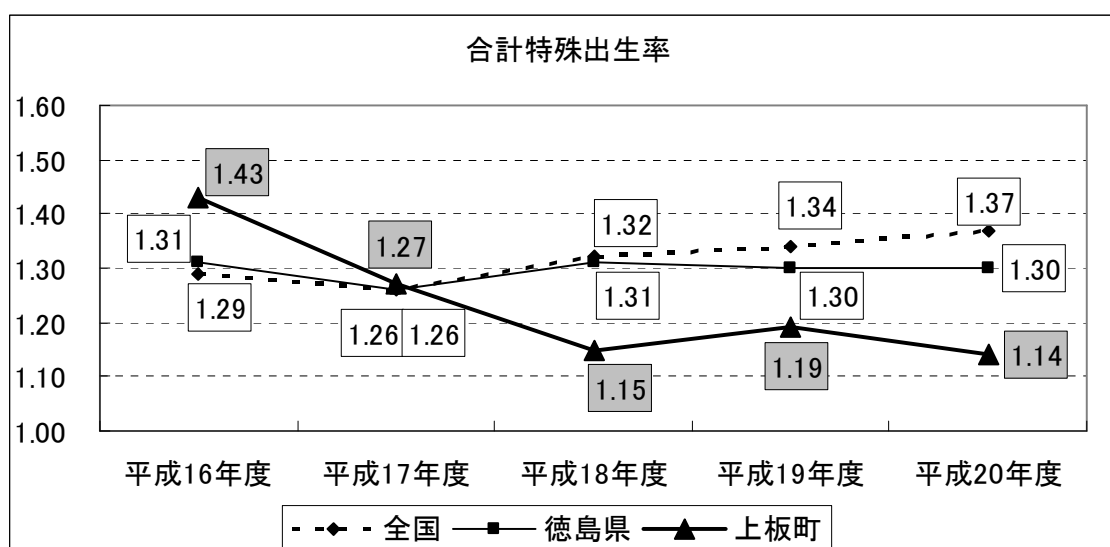


※ 資料：国勢調査

### (5)合計特殊出生率の推移

1 人の女性が生涯に産む子どもの数を示す合計特殊出生率の推移をみると、平成 17 年度までは全国及び徳島県より高くなっているが、平成 18 年度以降低くなっており、少子化の進行が続いています。

|     | 平成 16 年度 | 平成 17 年度 | 平成 18 年度 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 全国  | 1.29     | 1.26     | 1.32     | 1.34     | 1.37     |
| 徳島県 | 1.31     | 1.26     | 1.31     | 1.30     | 1.30     |
| 上板町 | 1.43     | 1.27     | 1.15     | 1.19     | 1.14     |



※ 資料：厚生労働省人口動態調査及び住民基本台帳より

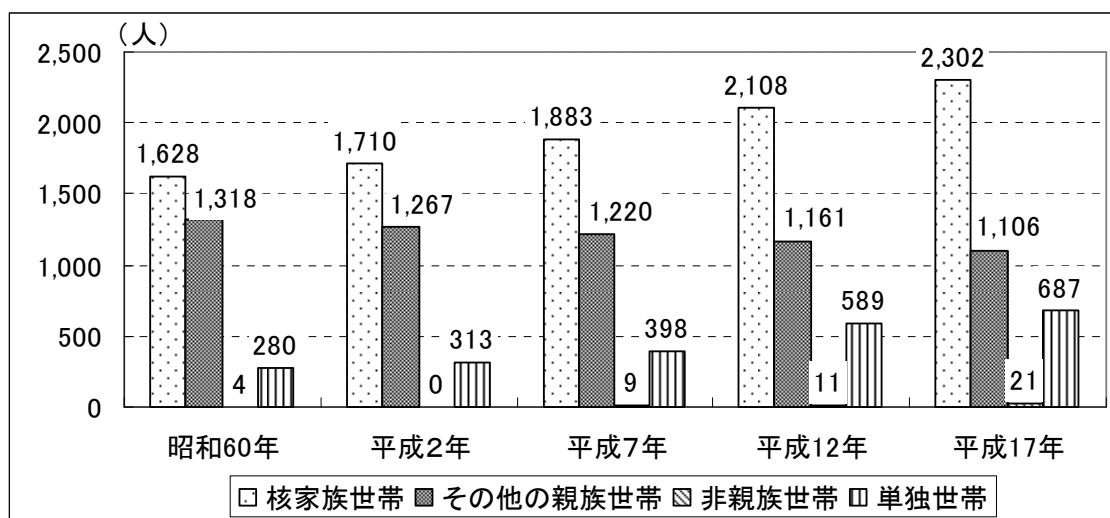


## 2 子育て環境の変化

### (1) 家族類型別一般世帯割合の推移

家族類型別世帯数の推移をみると、「核家族世帯」は昭和 60 年の 1,628 世帯から平成 17 年には 2,302 世帯と増加していますが、「その他の親族世帯」は昭和 60 年の 1,318 世帯から平成 17 年の 1,106 世帯へ減少しており、核家族化の進行がうかがえます。

【家族類型別世帯数の推移】（各年 10 月 1 日現在）



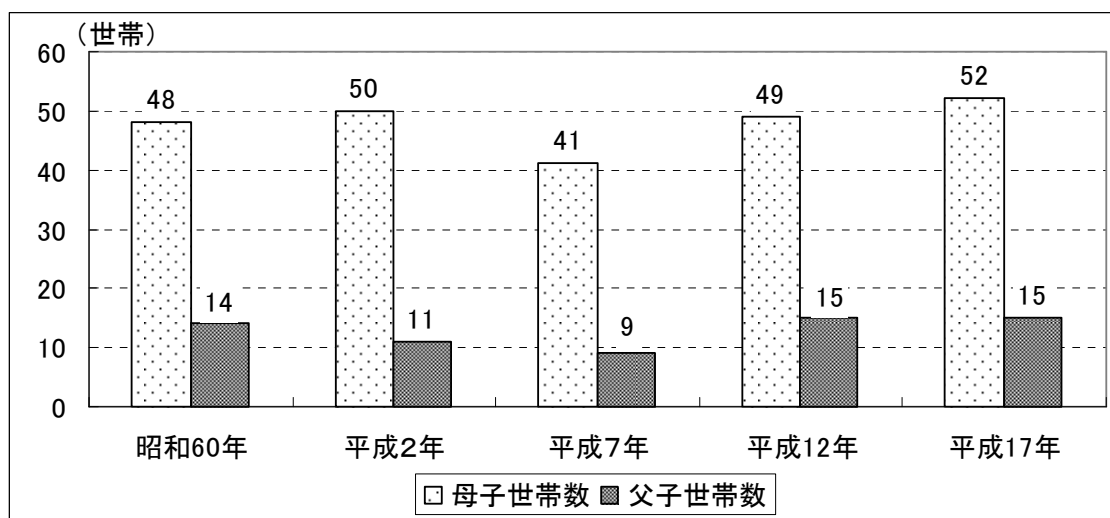
※ 資料：国勢調査

- ・ 核家族世帯  
夫婦のみ又は夫婦と未婚の子からなる世帯。
- ・ その他の親族世帯  
2人以上の世帯人員からなる世帯のうち、世帯主と親族関係にある者がいる世帯で核家族でない世帯。
- ・ 非親族世帯  
2人以上の世帯人員からなる世帯のうち、世帯主と親族関係にある者がいない世帯。
- ・ 単独世帯  
世帯人員が1人の世帯。

## (2)母子及び父子世帯数の状況

母子及び父子世帯数の推移をみると、母子世帯数及び父子世帯数は微増傾向となっています。

【母子及び父子世帯数の推移】（各年10月1日現在）



※ 資料：国勢調査



### (3)女性の就業状況

本町の女性の就業者数は、平成2年から平成17年まで2,687人から2,917人と増加していますが、就業率はやや低下しています。

年齢別の就業率（平成17年）を全国平均と比較してみると、本町の（10～19歳）の就業率は全国水準より低くなっていますが、20歳以上は全国水準を上回っています。

| 区 分         |               | 平成2年          | 平成7年          | 平成12年         | 平成17年         | 全国就業率<br>平成17年平均 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------|
| 女性（15歳以上）人口 |               | 5,246         | 5,487         | 5,804         | 6,084         |                  |
| 女性就業人口総数    |               | 2,687         | 2,660         | 2,768         | 2,917         |                  |
| 女性の就業率（％）   |               | 51.2          | 48.5          | 47.7          | 47.9          | 47.8             |
| 年齢別就業人口     | 15～19歳<br>（％） | 39<br>(9.0)   | 36<br>(7.5)   | 25<br>(7.3)   | 39<br>(10.9)  | 16.8             |
|             | 20～24歳<br>（％） | 195<br>(66.7) | 242<br>(65.0) | 243<br>(62.6) | 212<br>(68.8) | 67.7             |
|             | 25～29歳<br>（％） | 171<br>(59.5) | 185<br>(61.2) | 263<br>(63.6) | 308<br>(74.0) | 71.6             |
|             | 30～34歳<br>（％） | 228<br>(60.8) | 175<br>(55.0) | 195<br>(56.6) | 303<br>(65.6) | 61.6             |
|             | 35～39歳<br>（％） | 352<br>(70.1) | 297<br>(70.7) | 219<br>(63.6) | 247<br>(67.1) | 62.3             |
|             | 40～44歳<br>（％） | 403<br>(76.4) | 379<br>(72.7) | 321<br>(75.0) | 252<br>(69.4) | 69.5             |
|             | 45～49歳<br>（％） | 260<br>(69.7) | 399<br>(72.0) | 390<br>(72.8) | 340<br>(76.4) | 72.7             |
|             | 50～54歳<br>（％） | 220<br>(61.9) | 260<br>(65.1) | 404<br>(69.4) | 394<br>(71.4) | 68.3             |
|             | 55～59歳<br>（％） | 256<br>(53.7) | 200<br>(54.3) | 225<br>(55.2) | 376<br>(64.1) | 59.7             |

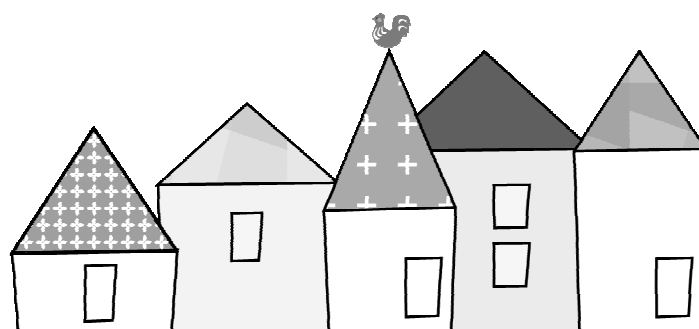
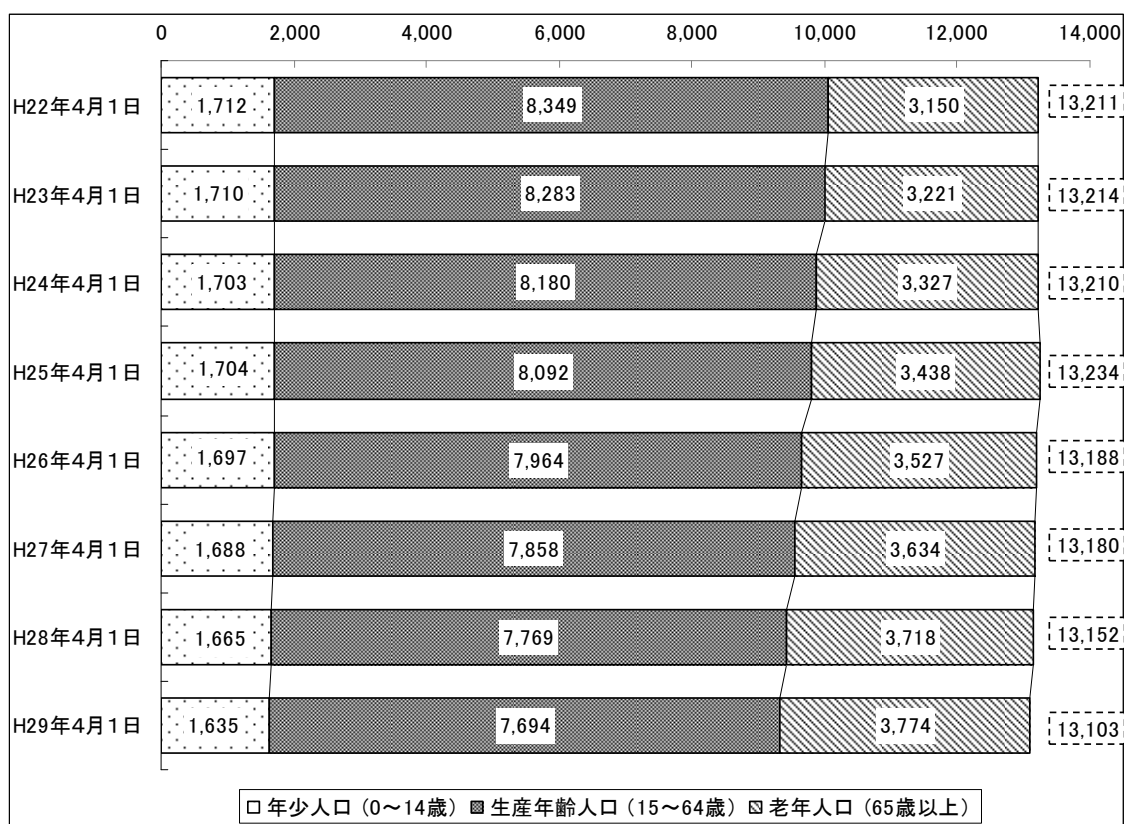
※ 資料：国勢調査

### 3 人口推計

平成 12 年 10 月 1 日と平成 17 年 10 月 1 日の国勢調査人口をもとに、コーホート変化率法を用いて平成 29 年 4 月 1 日までの推計を行いました。

総人口を見ると、年々減少傾向となり平成 29 年 4 月 1 日では 13,103 人となる見込みです。

年齢区分ごとに見ると、年少人口（0～14 歳）及び生産年齢人口（15～64 歳）では年々減少傾向となっているのに対し、老年人口（65 歳以上）は増加傾向となっており、益々少子高齢化が進行していく見込みとなります。





#### 4 人口推計(児童人口)

人口推計結果を児童人口で見ると、0～9歳は減少傾向となり、10～17 歳は増加傾向となっています。

平成 29 年で0～2歳児は 267 人、3～5歳は 287 人、6～8歳は 339 人、9～11 歳は 343 人、12～14 歳は 399 人、15～17 歳は 360 人となる見込みです。

| 児童年齢 |       | 0歳児     | 1歳児     | 2歳児     | 3歳児     | 4歳児      | 5歳児      | 0～2歳<br>合計   | 3～5歳<br>合計   | 0～5歳<br>合計   |
|------|-------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|--------------|--------------|--------------|
| 推計人口 | 平成22年 | 105人    | 96人     | 110人    | 110人    | 100人     | 119人     | 311人         | 329人         | 640人         |
|      | 平成23年 | 104人    | 95人     | 107人    | 107人    | 98人      | 118人     | 306人         | 323人         | 629人         |
|      | 平成24年 | 102人    | 93人     | 105人    | 105人    | 96人      | 116人     | 300人         | 317人         | 617人         |
|      | 平成25年 | 100人    | 91人     | 103人    | 103人    | 94人      | 115人     | 294人         | 312人         | 606人         |
|      | 平成26年 | 98人     | 89人     | 101人    | 101人    | 92人      | 113人     | 288人         | 306人         | 594人         |
|      | 平成27年 | 96人     | 87人     | 99人     | 99人     | 90人      | 111人     | 282人         | 300人         | 582人         |
|      | 平成28年 | 92人     | 85人     | 96人     | 96人     | 88人      | 109人     | 273人         | 293人         | 566人         |
|      | 平成29年 | 90人     | 83人     | 94人     | 94人     | 86人      | 107人     | 267人         | 287人         | 554人         |
| 児童年齢 |       | 6歳児(小1) | 7歳児(小2) | 8歳児(小3) | 9歳児(小4) | 10歳児(小5) | 11歳児(小6) | 6～8歳<br>合計   | 9～11歳<br>合計  | 6～11歳<br>合計  |
| 推計人口 | 平成22年 | 121人    | 123人    | 127人    | 120人    | 97人      | 118人     | 371人         | 335人         | 706人         |
|      | 平成23年 | 122人    | 124人    | 128人    | 121人    | 97人      | 120人     | 374人         | 338人         | 712人         |
|      | 平成24年 | 120人    | 122人    | 126人    | 119人    | 99人      | 122人     | 368人         | 340人         | 708人         |
|      | 平成25年 | 119人    | 121人    | 125人    | 118人    | 102人     | 125人     | 365人         | 345人         | 710人         |
|      | 平成26年 | 117人    | 119人    | 122人    | 116人    | 105人     | 128人     | 358人         | 349人         | 707人         |
|      | 平成27年 | 114人    | 116人    | 120人    | 114人    | 107人     | 130人     | 350人         | 351人         | 701人         |
|      | 平成28年 | 113人    | 114人    | 118人    | 111人    | 108人     | 130人     | 345人         | 349人         | 694人         |
|      | 平成29年 | 111人    | 112人    | 116人    | 109人    | 106人     | 128人     | 339人         | 343人         | 682人         |
| 児童年齢 |       | 12歳     | 13歳     | 14歳     | 15歳     | 16歳      | 17歳      | 12～14歳<br>合計 | 15～17歳<br>合計 | 12～17歳<br>合計 |
| 推計人口 | 平成22年 | 121人    | 122人    | 123人    | 109人    | 130人     | 118人     | 366人         | 357人         | 723人         |
|      | 平成23年 | 122人    | 122人    | 125人    | 106人    | 125人     | 114人     | 369人         | 345人         | 714人         |
|      | 平成24年 | 125人    | 125人    | 128人    | 106人    | 125人     | 114人     | 378人         | 345人         | 723人         |
|      | 平成25年 | 128人    | 128人    | 132人    | 107人    | 126人     | 115人     | 388人         | 348人         | 736人         |
|      | 平成26年 | 130人    | 131人    | 135人    | 107人    | 126人     | 115人     | 396人         | 348人         | 744人         |
|      | 平成27年 | 133人    | 134人    | 138人    | 107人    | 126人     | 115人     | 405人         | 348人         | 753人         |
|      | 平成28年 | 133人    | 134人    | 138人    | 108人    | 128人     | 116人     | 405人         | 352人         | 757人         |
|      | 平成29年 | 131人    | 132人    | 136人    | 110人    | 131人     | 119人     | 399人         | 360人         | 759人         |

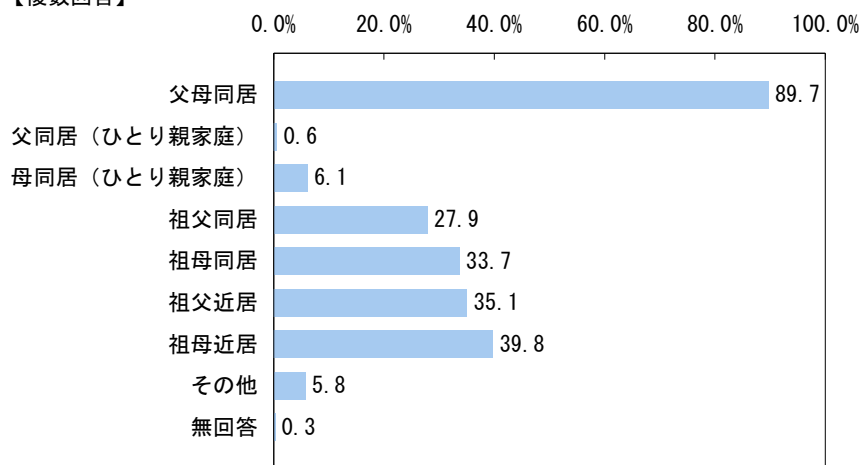
## 5 ニーズ調査結果(就学前児童)

### (1)お子さんとの同居・近居の状況

お子さんとの同居・近居の状況をみると、「父母同居」89.7%が最も多く、次いで「祖母近居」39.8%、「祖父近居」35.1%、「祖母同居」33.7%、「祖父同居」27.9%の順となっています。

また、ひとり親家庭では、「母同居（ひとり親家庭）」6.1%、「父同居（ひとり親家庭）」0.6%の順となっています。

【複数回答】

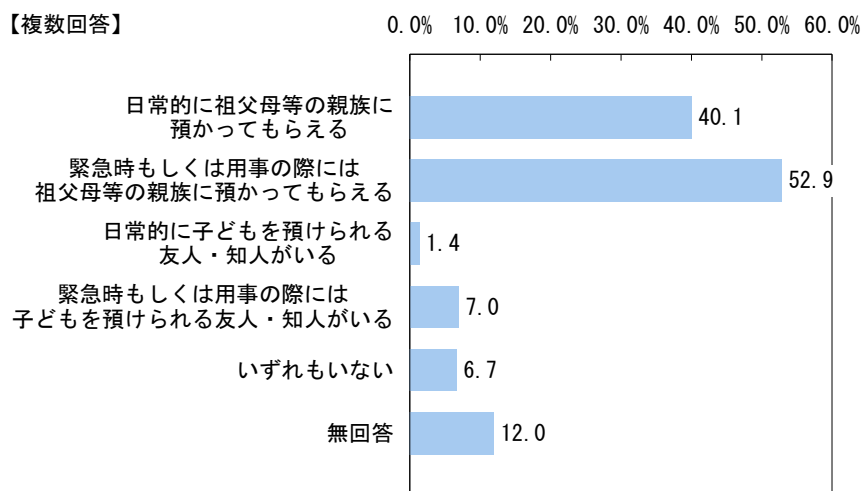


[n=359]

### (2)日頃、お子さんを預かってもらえる人の有無

日頃、お子さんを預かってもらえる人の有無をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」52.9%及び「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」40.1%が大半を占めており、その他の項目は1割以下となっています。

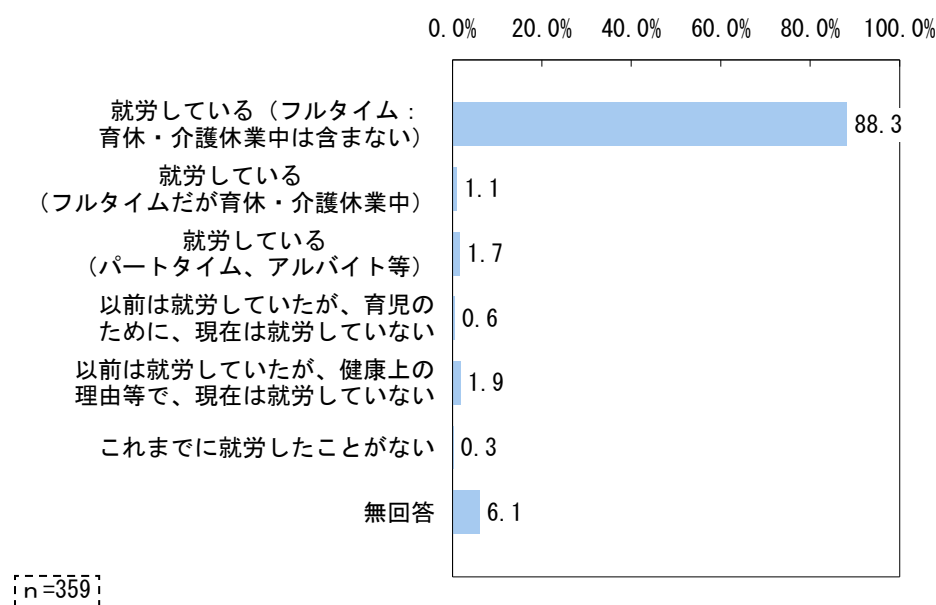
【複数回答】



[n=359]

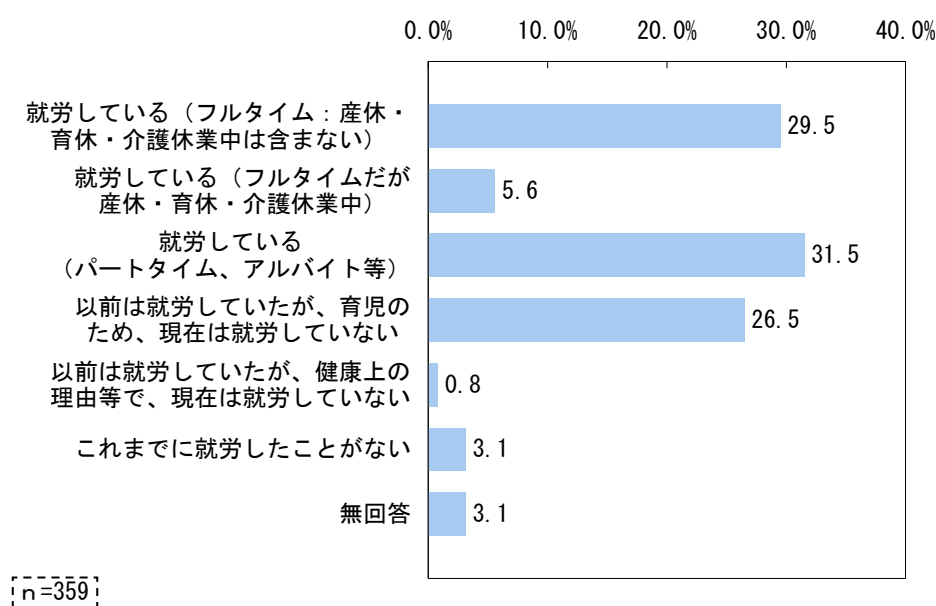
### (3)現在の就労状況(父親)

父親の現在の就労状況をみると、「就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）」が最も多く約9割となっており、その他の項目は1割以下となっています。



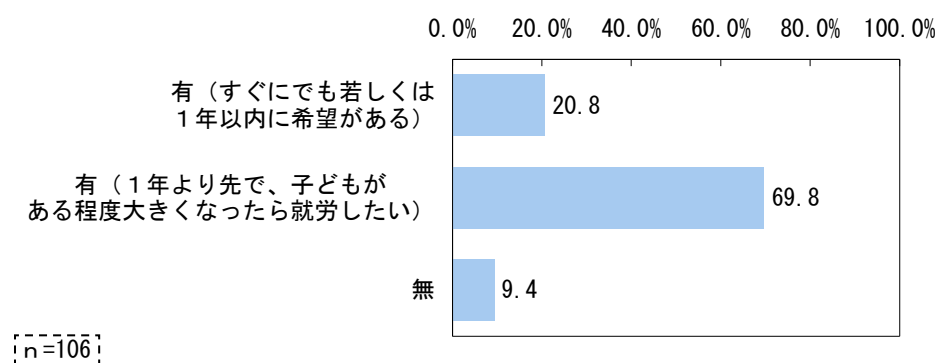
### (4)現在の就労状況(母親)

母親の現在の就労状況をみると、「就労している（パートタイム、アルバイト等）」31.5%が最も多く、次いで「就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）」29.5%、「以前は就労していたが、育児のため、現在は就労していない」26.5%の順となっています。



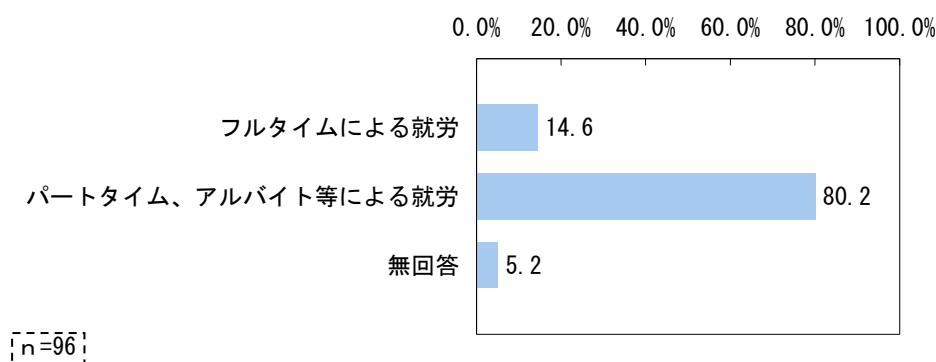
### (5)母親の就労希望

「以前は就労していたが、育児のため、現在は就労していない」あるいは「これまでに就労したことがない」と答えた母親に、就労希望についてたずねると、「有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」69.8%が最も多く、次いで「有（すぐにでも若しくは1年以内に希望がある）」20.8%、「無」9.4%の順となっています。



### (6)希望の就労形態

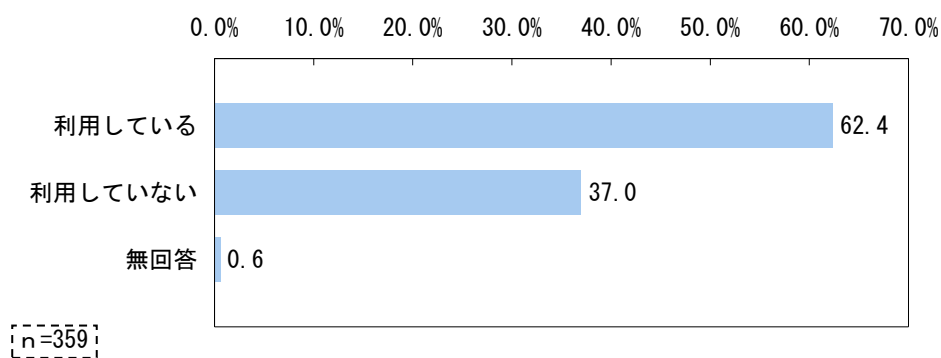
「有（すぐにでも若しくは1年以内に希望がある）」あるいは「有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」と答えた方に、希望する就労形態についてたずねると、「パートタイム、アルバイト等による就労」80.2%、「フルタイムによる就労」14.6%となっています。



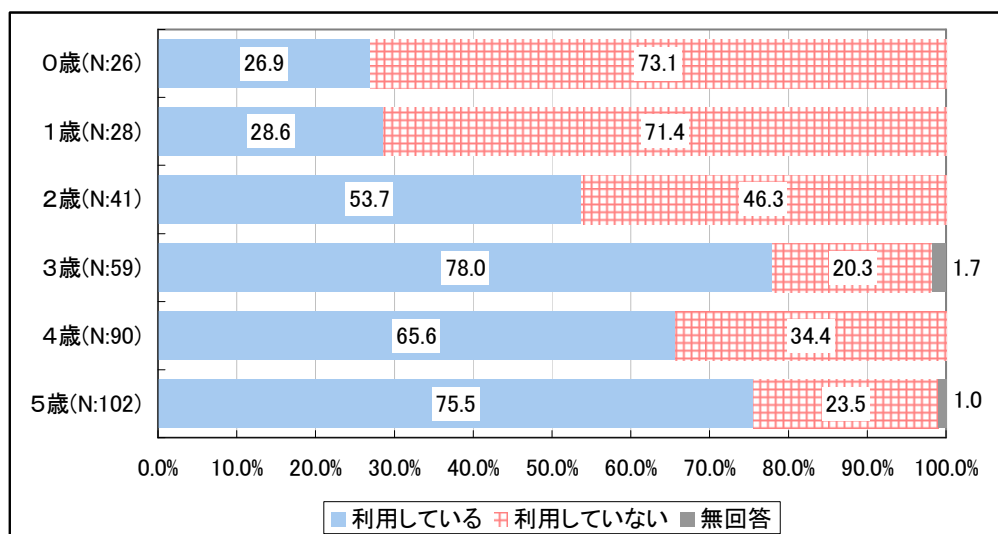
## (7)保育サービスの利用の有無

現在保育サービスを利用しているかをみると、「利用している」62.4%、「利用していない」37.0%となっています。

年齢別にみると、「2歳」以上では「利用している」が5割以上となっており、「0歳」及び「1歳」では3割程度となっています。



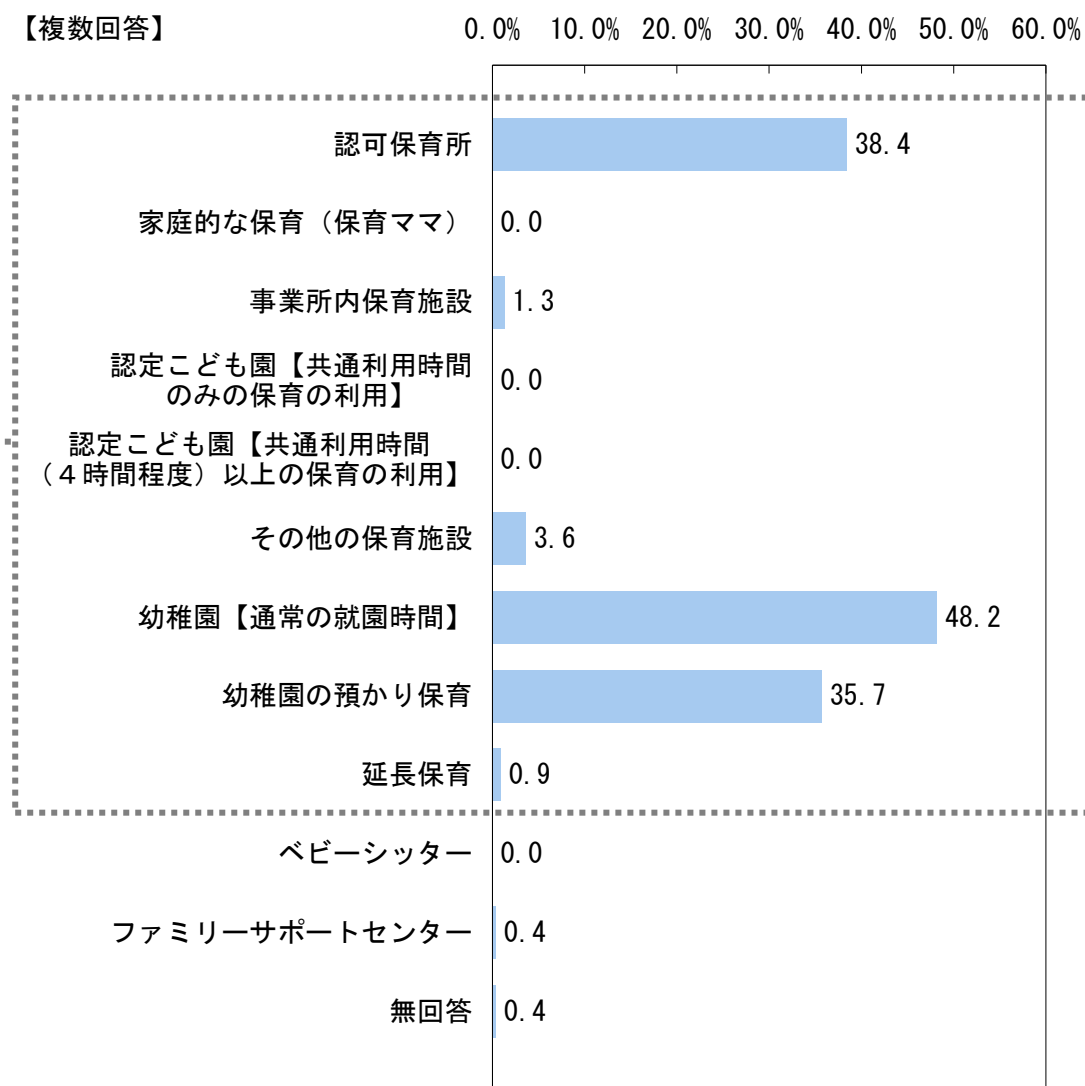
### <年齢別>



## (8)利用しているサービス

保育サービスを「利用している」と答えた方に、利用しているサービスをたずねると、「幼稚園【通常の就園時間】」48.2%が最も多く、次いで、「認可保育所」38.4%、「幼稚園の預かり保育」35.7%の順となっています。

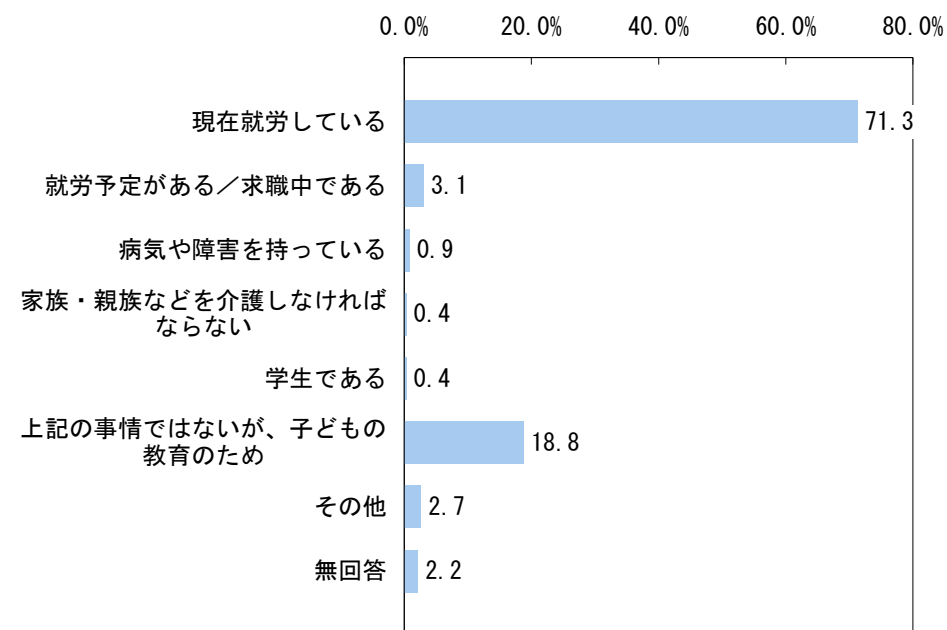
【複数回答】



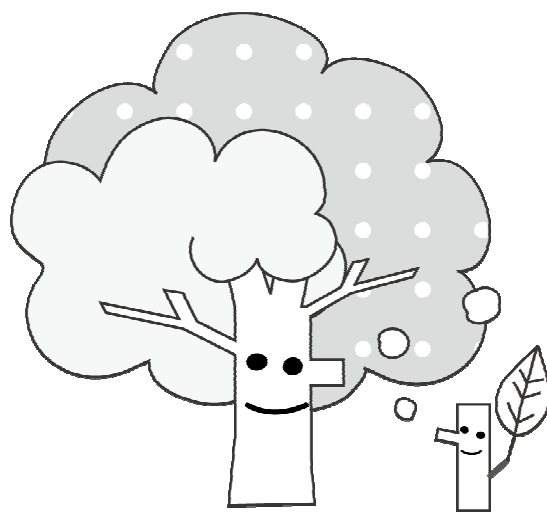
[n=224]

### (9)サービスを利用している理由

サービスを利用している理由をたずねると、「現在就労している」71.3%が最も多く、次いで「上記の事情ではないが、子どもの教育のため」18.8%となっており、その他の項目は1割以下となっています。

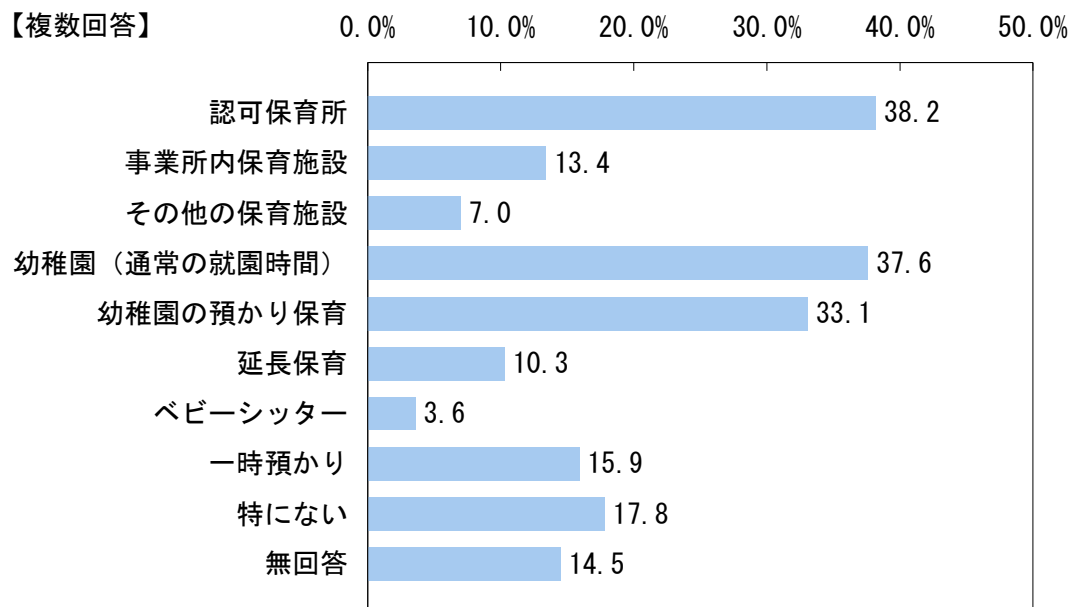


[n=223]



#### (10)今後の利用意向・不足している保育サービス

今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは（利用日数・回数や利用時間が）足りていないと思う保育サービスをたずねると、「認可保育所」38.2%が最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間）」37.6%、「幼稚園の預かり保育」33.1%、「特にない」17.8%の順となっています。



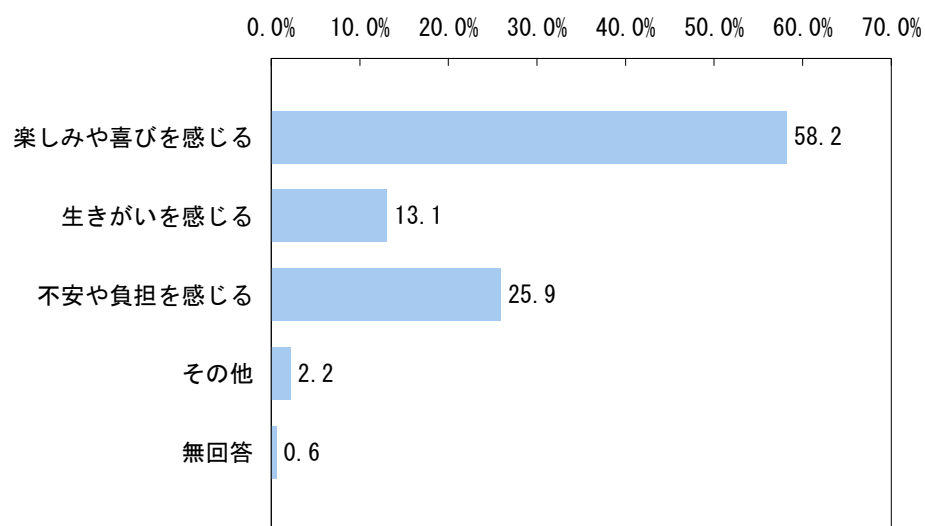
[n=359]





### (11)子育てについての感じ方

子育てについてどのように感じているかをみると、「楽しみや喜びを感じる」58.2%が最も多く、次いで「不安や負担を感じる」25.9%、「生きがいを感じる」13.1%の順となっています。

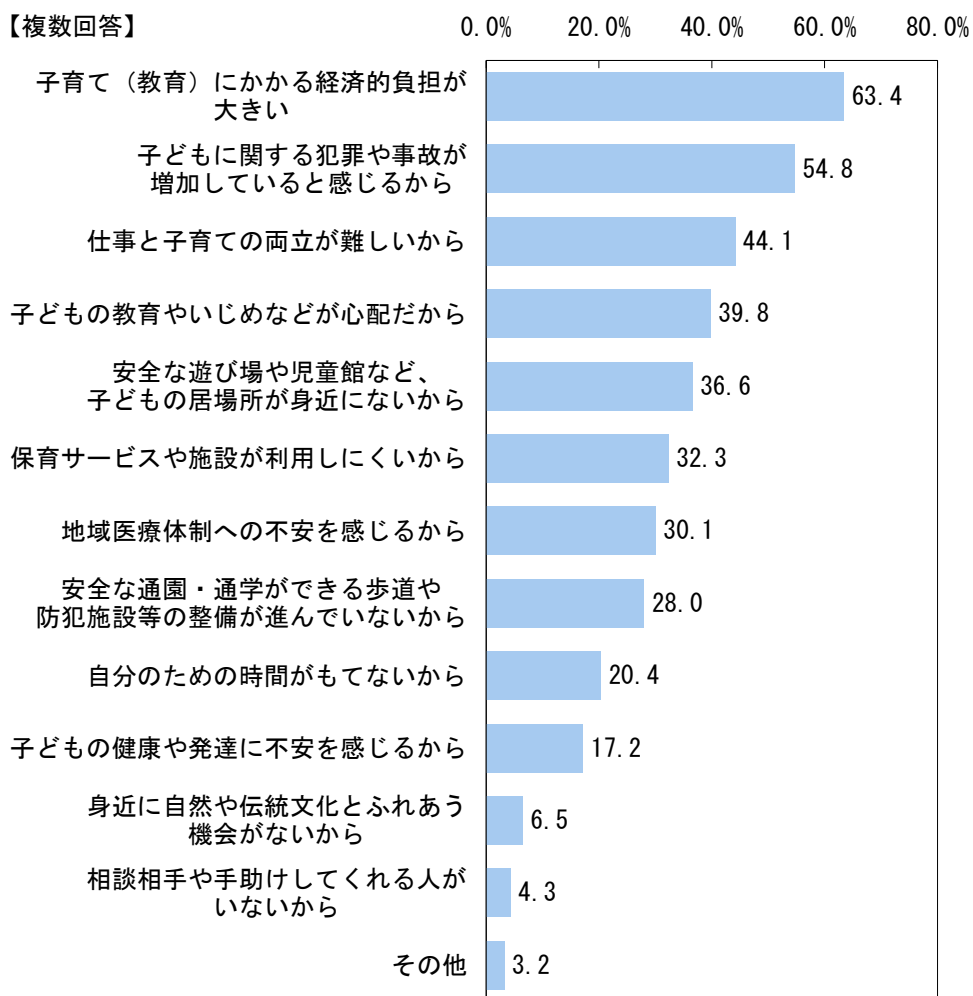


[n=359]



## (12)不安や負担を感じる理由

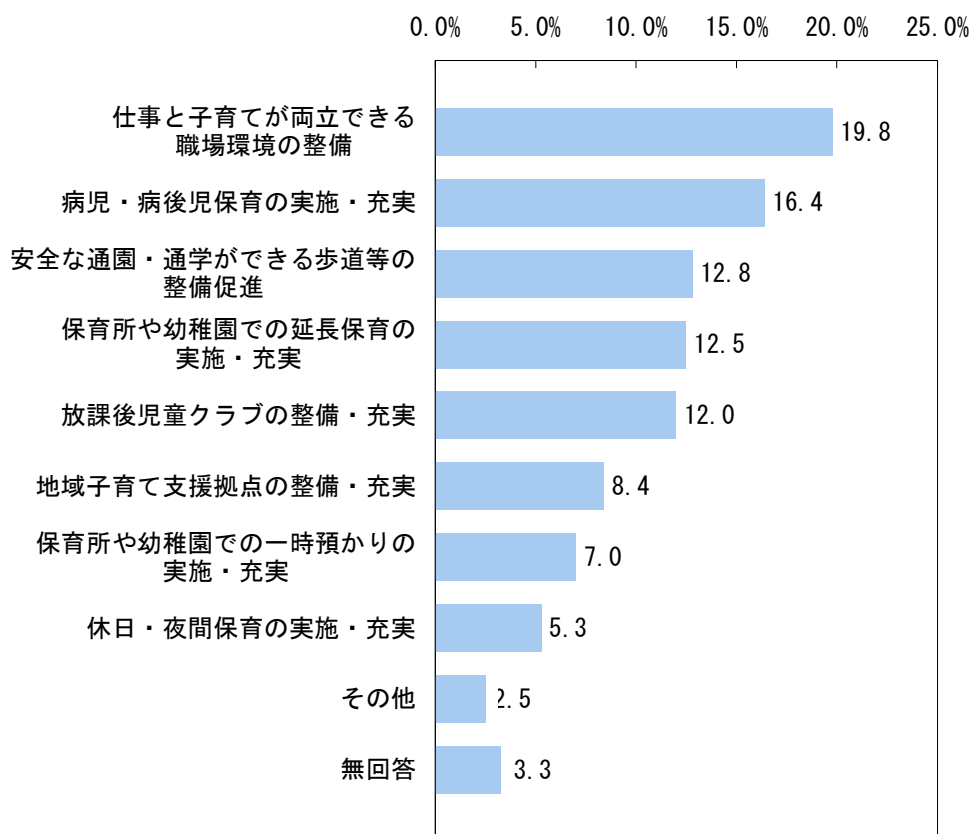
「不安や負担を感じる」と答えた方に、理由をたずねると、「子育て（教育）にかかる経済的負担が大きい」63.4%が最も多くなっています。次いで、「子どもに関する犯罪や事故が増加していると感じるから」54.8%、「仕事と子育ての両立が難しいから」44.1%、「子どもの教育やいじめなどが心配だから」39.8%の順となっています。



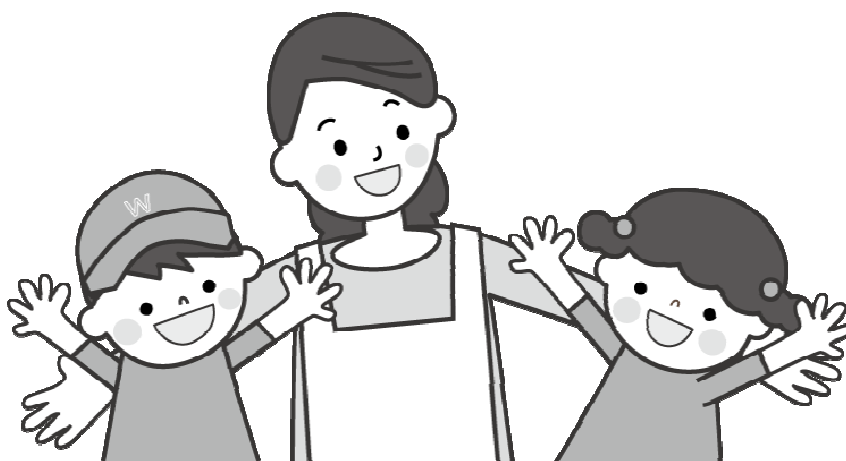
[n=93]

### (13)一番望んでいる子育て支援策

一番望んでいる子育て支援策をみると、「仕事と子育てが両立できる職場環境の整備」19.8%が最も多く、次いで「病児・病後児保育の実施・充実」16.4%、「安全な通園・通学ができる歩道等の整備促進」12.8%、「保育所や幼稚園での延長保育の実施・充実」12.5%、「放課後児童クラブの整備・充実」12.0%の順となっています。



[n=359]

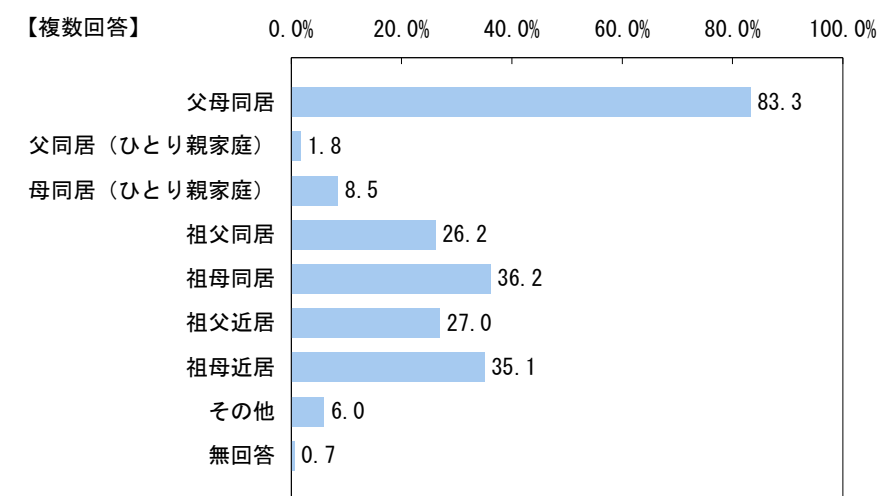


## 6 ニーズ調査結果(就学児童)

### (1)お子さんとの同居・近居の方

お子さんとの同居・近居の方をみると、「父母同居」83.3%が最も多く、次いで「祖母同居」36.2%、「祖母近居」35.1%、「祖父近居」27.0%、「祖父同居」26.2%の順となっています。

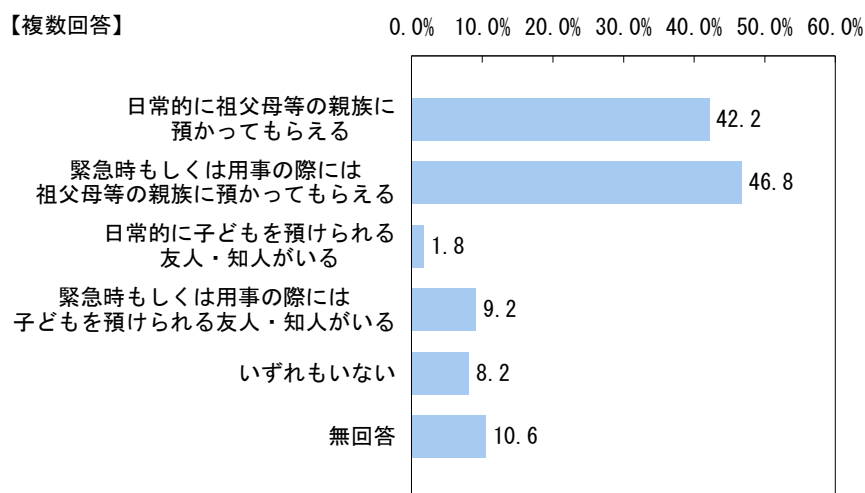
また、ひとり親家庭をみると、「母同居（ひとり親家庭）」6.5%、「父同居（ひとり親家庭）」1.8%の順となっています。



[n=282]

### (2)日頃、お子さんを預かってもらえる人の有無

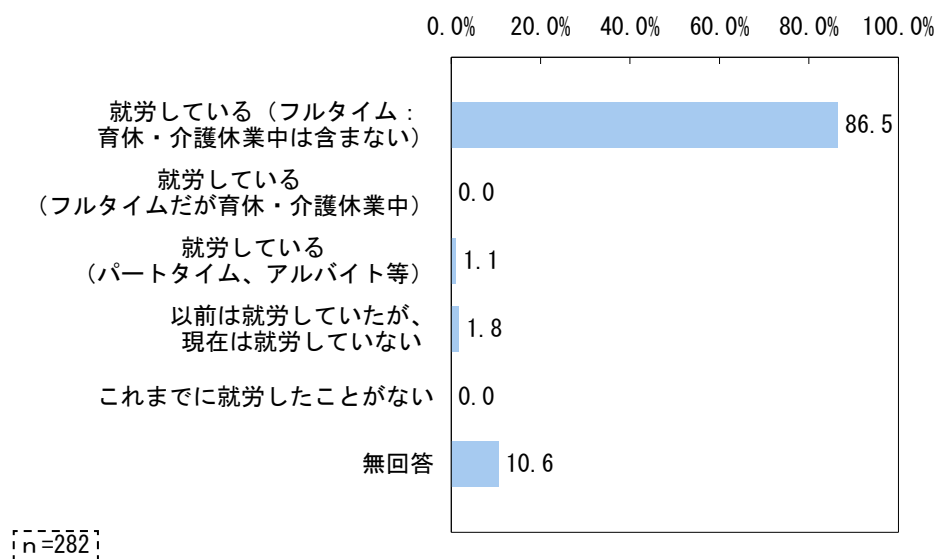
日頃、お子さんを預かってもらえる人の有無をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」46.8%が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」42.2%の順となっており、その他の項目は1割以下となっています。



[n=282]

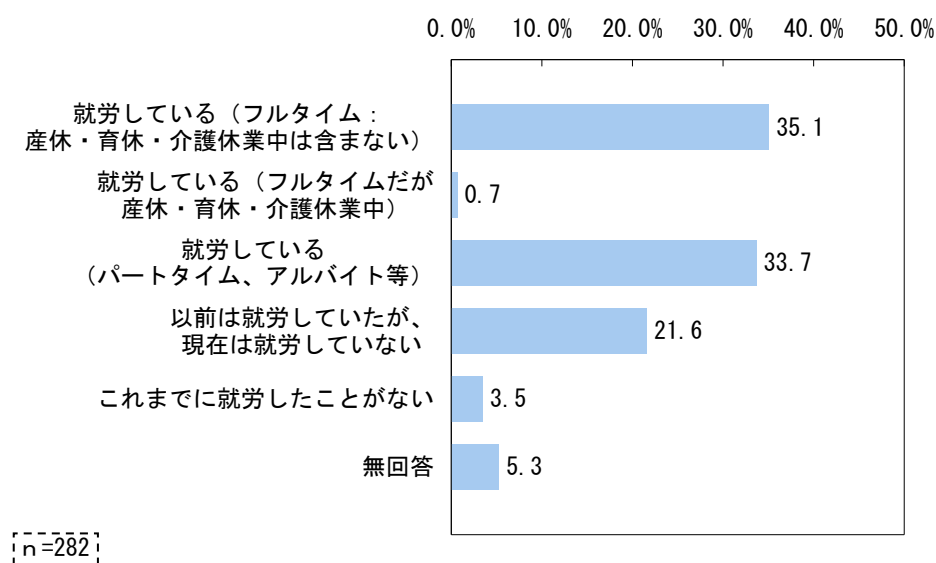
### (3)現在の就労状況(父親)

父親の現在の就労状況をみると、「就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）」が最も多く約9割となっており、その他の項目は1割以下となっています。



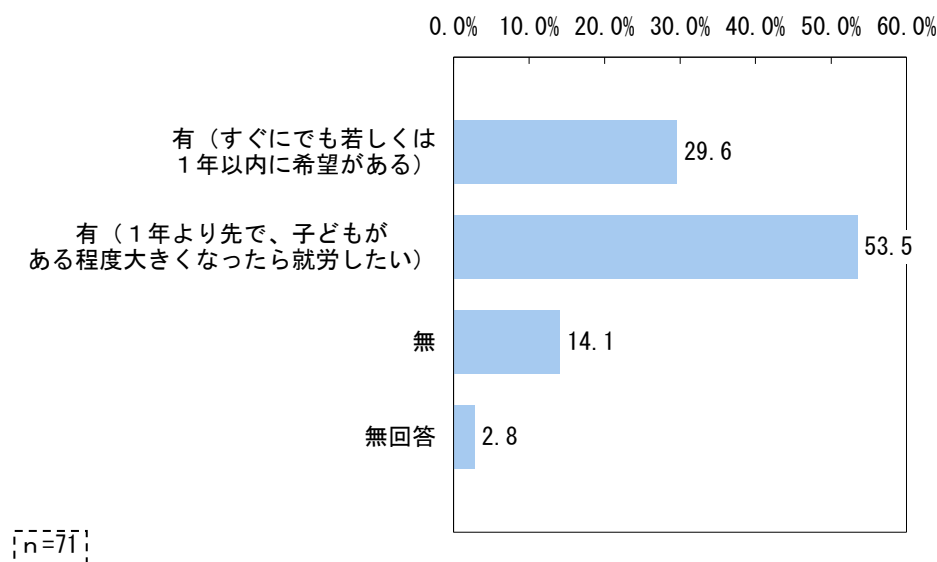
### (4)現在の就労状況(母親)

母親の現在の就労状況をみると、「就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）」35.1%が最も多く、次いで「就労している（パートタイム、アルバイト等）」33.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」21.6%の順となっています。



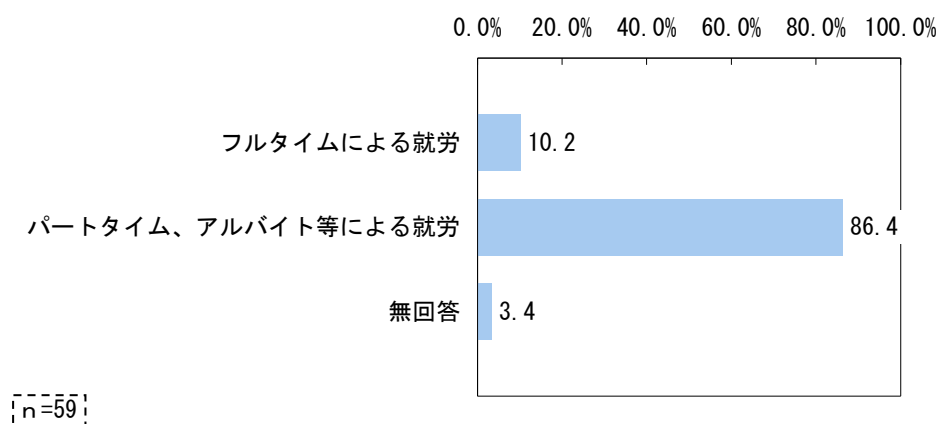
### (5)母親の就労希望

「以前は就労していたが、現在は就労していない」あるいは「これまでに就労したことがない」と答えた方に、母親の就労希望についてたずねると、「有（１年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」53.5%が最も多く、次いで「有（すぐにでも若しくは１年以内に希望がある）」29.6%、「無」14.1%の順となっています。



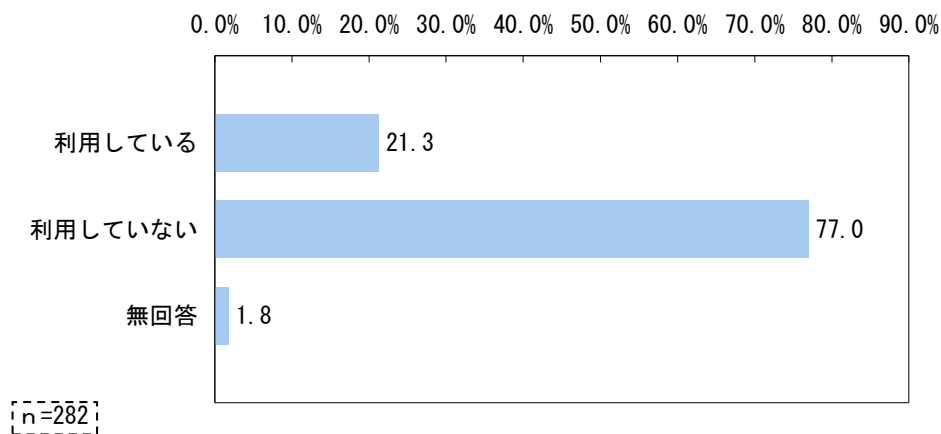
### (6)希望の就労形態

「有（すぐにでも若しくは１年以内に希望がある）」あるいは「有（１年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」と答えた方に、希望する就労形態についてたずねると、「パートタイム、アルバイト等による就労」が約９割となっています。



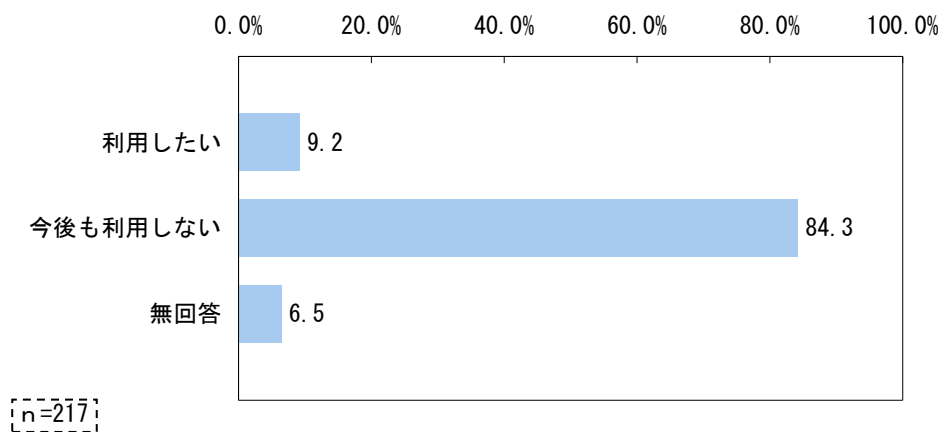
#### (7)放課後児童クラブの利用の有無

現在利用しているかをみると、「利用していない」77.0%、「利用している」21.3%となっています。



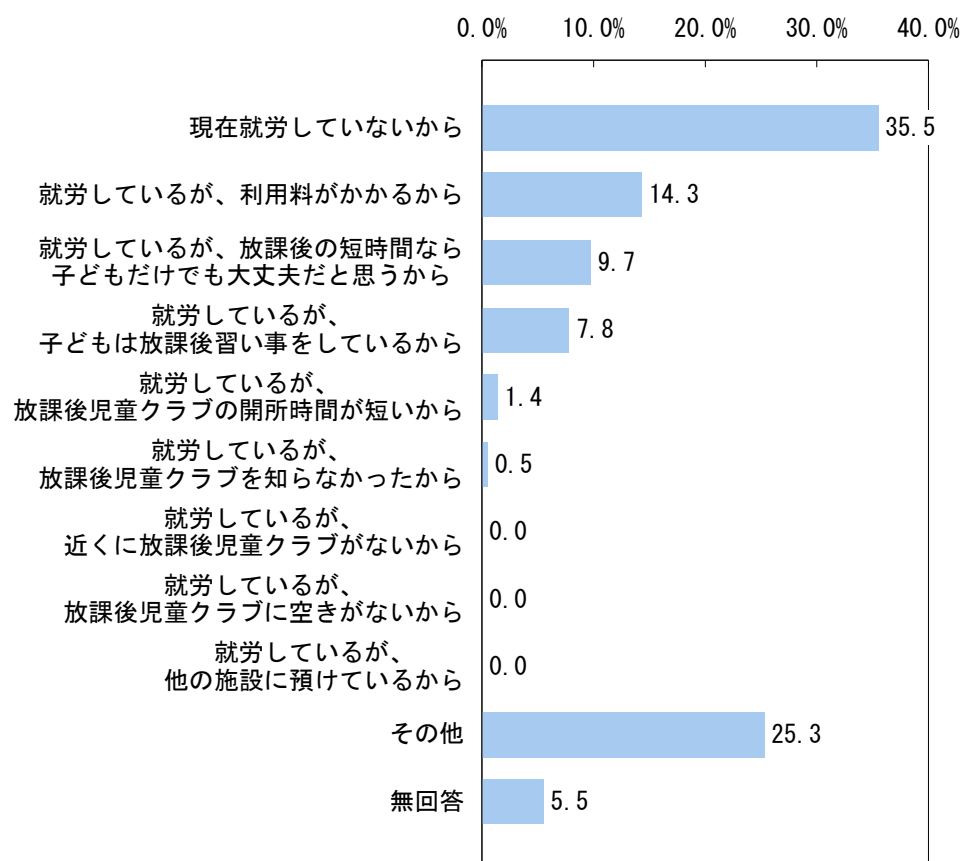
#### (8)今後の利用意向

「利用していない」と答えた方に、今後、放課後児童クラブを利用したいかについてたずねると、「今後も利用しない」84.3%、「利用したい」9.2%となっています。



### (9)利用していない理由

放課後児童クラブを「利用していない」と答えた方に、利用していない理由をたずねると、「現在就労していないから」35.5%が最も多く、次いで「就労しているが、利用料がかかるから」14.3%、「就労しているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから」9.7%の順となっています。

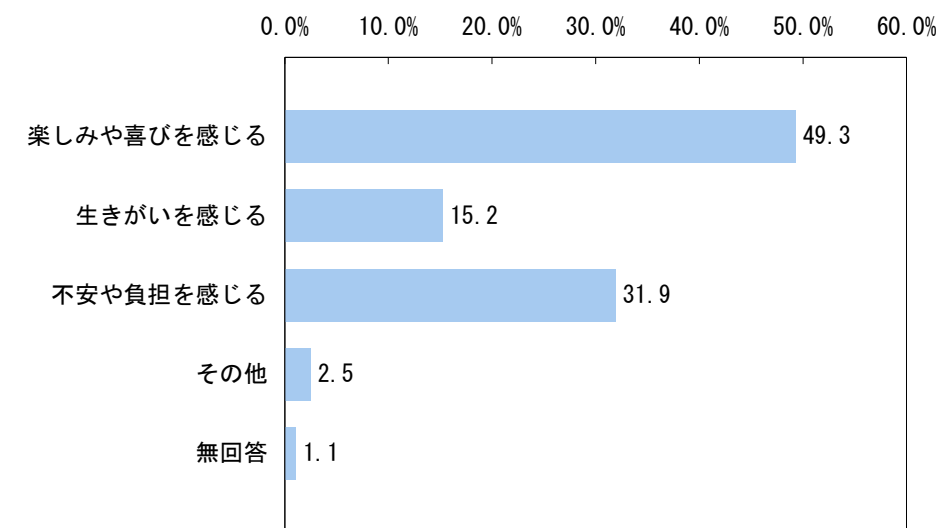


[n=217]

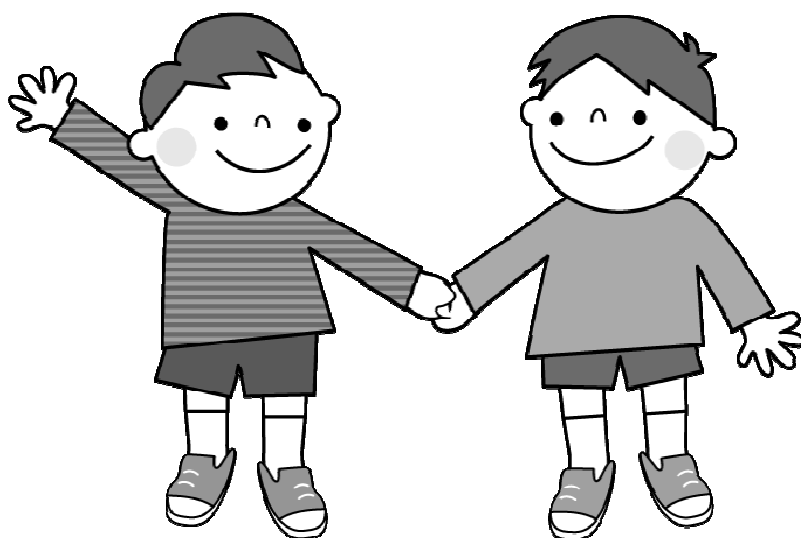


#### (10)子育てについての感じ方

子育てについてどのように感じているかをみると、「楽しみや喜びを感じる」49.3%が最も多く、次いで「不安や負担を感じる」31.9%、「生きがいを感じる」15.2%の順となっています。

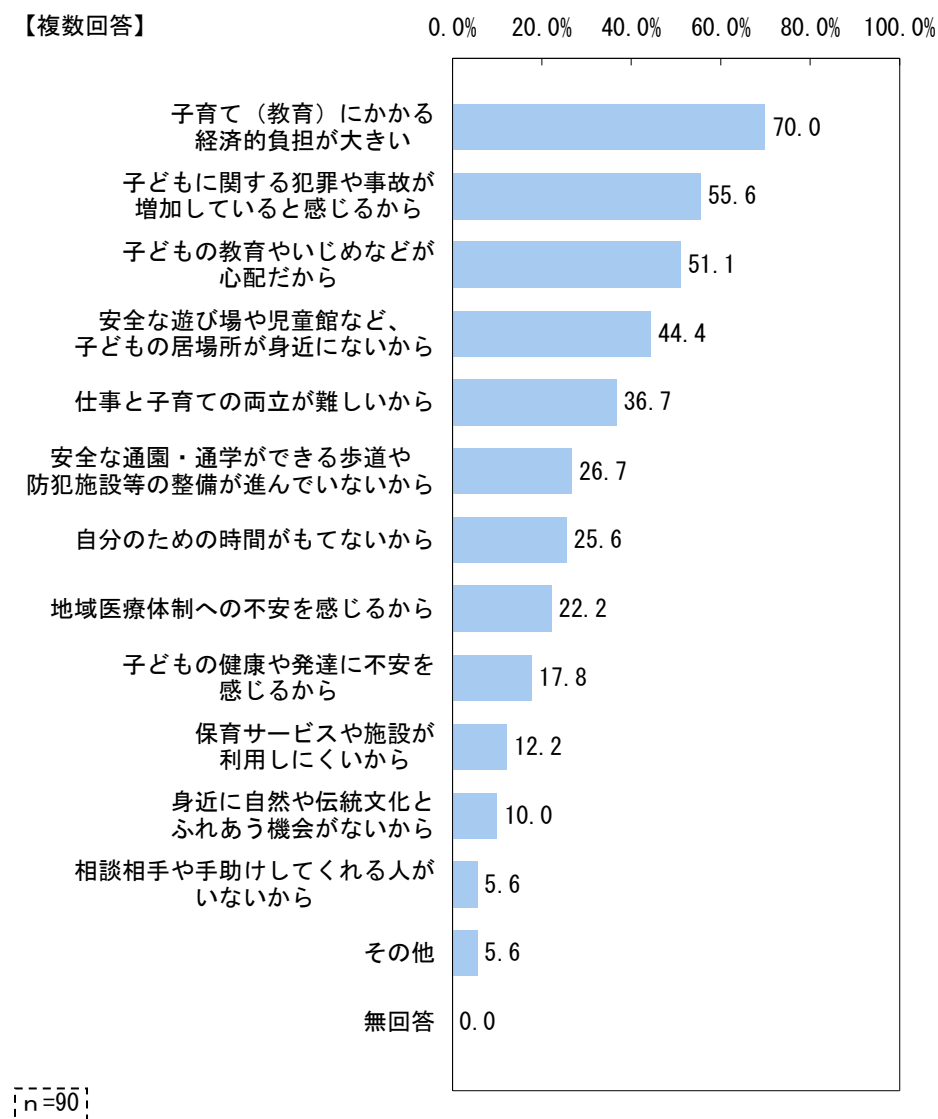


[n=282]



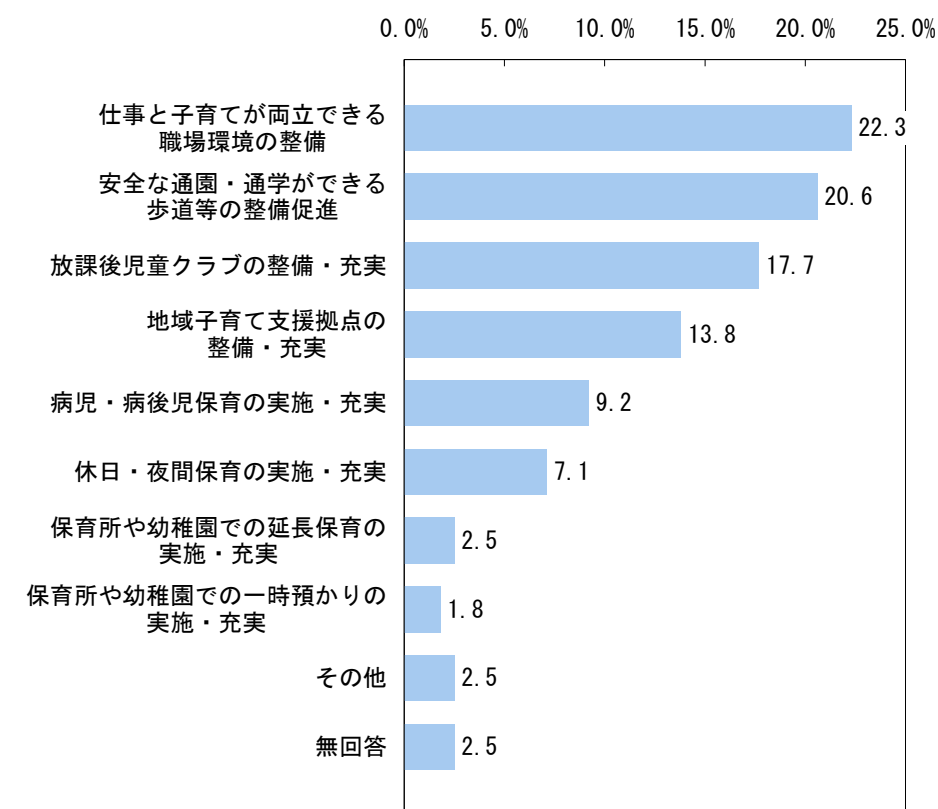
### (11)不安や負担を感じる理由

子育てに「不安や負担を感じる」と答えた方に、理由をたずねると、「子育て（教育）にかかる経済的負担が大きい」70.0%が最も多く、次いで「子どもに関する犯罪や事故が増加していると感じるから」55.6%、「子どもの教育やいじめなどが心配だから」51.1%の順となっています。



## (12)一番望んでいる子育て支援策

一番望んでいる子育て支援策をみると、「仕事と子育てが両立できる職場環境の整備」22.3%が最も多く、次いで「安全な通園・通学ができる歩道等の整備促進」20.6%、「放課後児童クラブの整備・充実」17.7%の順となっています。



n=282

